

様式3

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（22） 学校名 豊田市立伊保小学校

1 テーマ

伝統ある伊保の文化を伝承し、未来につながる学校づくり

サブテーマ 地域の教育力を活かし、学んだことを生活に活かせる子をめざして

2 ねらい

(1) 児童の心に添う心の相談員を配置し、いじめのない学校づくりをめざす。

(2) 地域の教育力を学校教育に活かす。

(3) 校内整備員の協力を得て、子どもたちが安全に活動できる校内の環境を整える。

3 活動内容

(1) 心の相談員が、人間関係に悩む児童や支援が必要な児童と相談活動を行った。

(2) 「総合的な学習の時間」・「生活科の学習」で、地域講師の専門的な指導を得て、米作り、野菜作り、伝統芸能の授業を行った。

(3) 地元の里山の会や農地環境保全会の協力で、地域の自然を探索し、それを守る地域の人々の保全活動や豊かな自然を維持する苦労などを知ることができた。

(4) ミシンボランティアのきめ細やかなサポート支援のおかげで、教師の指導が児童一人一人に的確に伝わり、迷いなくエプロン作成を行った。

(5) 学生ボランティアを広く募集し、各クラスに配置したり、水泳授業の補助を行ったりしたことで、児童へのきめ細やかな指導・支援につなげた。

4 成果と課題

- 心の相談員の配置により、全学年の個別の支援が必要な児童のサポートを丁寧に行い、落ち着いた学校生活を送る児童がみられた。
- 6年生の総合的な学習の時間に、地域に伝わる伝統芸能を地域に暮らす総合的な学習講師から学んだ。
- 「地域ぐるみの教育」をより円滑に進められるように、地域学校協働本部がボランティア名簿を作成し、組織的、計画的に地域の方を積極的に授業支援に取り入れた。
- 地域講師から学ぶことで、保護者アンケートの「特色ある学校づくり」に関して、肯定的にとらえる保護者が多く、数値が市平均より0.26ポイント高かった。
- 校内整備員の配置により、校庭の草刈りや樹木の伐採が計画的に進んだ。また、老朽化した校内の施設の修繕も行った。
- 学生ボランティアを多数採用し、配置した。児童にとっては、年齢の近い学生ボランティアの支援を受けることで、心の安定が図られたり、授業の支援を受けられたりした。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- 学校だより（月2回発行）で、全学年の取組を発信した。また、ホームページでも、各学年の取組を、随時掲載（週3～4回）した。
- 学校運営協議会で、特色ある学校づくり推進事業に関する活動について報告を行った。